

# Net Work Report FORWARD

ネットワークレポート  
フォワード 第42号  
for working together

特定非営利活動法人大阪障害者雇用支援ネットワーク  
〒540-0031 大阪市中央区北浜東3-14(エルおおさか4F)

TEL:06-6949-0350  
FAX:06-6949-1256

<http://www.workwith.or.jp/>  
E-mail:o-isc@onyx.dti.ne.jp

発行人/江口 敬一

## 今号のごあいさつ

### 「新年度に思いをつなげて」

代表理事 江口 敬一

今年も早3月を迎える頃となり、ネットワークも新年度の事業計画を策定する時期を迎えています。ここ数年、インターンシップ、ジョブコーチ養成研修、企業ネット、雇用フォーラム等各事業部の活動が定着し、また充実した内容となっており関係していただきました皆様に改めて心よりお礼申し上げます。加えて昨年は就業ステップアップ事業の新規受託によりこれまでにない多忙な1年でした。事務局はじめスタッフの皆様ご苦勞様でした。

さて、新年度は次世代につなぐ準備の年と位置付けています。理事のメンバーも設立時の方々が年々ご退任され、時の流れを感じると共に代わって若い世代が新しく理事にご就任いただきました。

大阪障害者雇用支援ネットワークも設立来の思いをどう次世代につなげていくかを考える時期となってきております。昨年は「障がいのある人の働くことを当たり前」というネットワーク共通の思いが、確実に様々な場面で引き継がれていることを実感させていただきました。

ジョブコーチ養成研修では、退職された特別支援学校の元校長先生が、地域のNPOよりジョブコーチ研修に参加され卒業生の就労支援に携わろうとされています。企業ネット関連では、障がいのあるご子息をもつシステム会社の社長さんが本業のみならず業界団体や企業ネットで障がい者雇用においても経営面においても立派な成果を挙げられています。また発達障がいのある人を中心に雇用する特例子会社の設立に

関わられ、60歳を過ぎても生き活きと活躍されている方、一方水耕栽培による特例子会社をはじめ立ち上げられ退職後、その経験を地域社会で活かそうとされている方もおられます。



当ネットワークにおいても福祉関連施設での長年に亘る職務経験を活かし、障がいのある人が働き、暮らすことができる地域社会の実現を行政はじめ障がいのある人に関係する機関、保護者等と一体となって目指している中心メンバーがいます。大変ありがたく、心強いことです。

障がいのある人が当たり前で働くことのできる地域社会の実現には、まだまだほど遠い現状ですが、障がいのある人を取り巻く社会環境は、確実に変化し、それに伴って当ネットワークの活動も多岐に亘ってきております。

当ネットワークは障がいのある人に職場実習の場を提供したいとの思いから1996年に設立され、その後インターンシップ事業となり現在までネットワークの中心的活動となっております。新年度もその思いと志を引継ぎ元気に明るくたくましく皆様と共に活動してまいります。よろしくご支援ご協力の程お願い申し上げます。

# OSK企業ネットフォーラムの取り組みについて

地域ネット事業部 企業ネット構築事業 伊集院 貴子

## <平成23年度 OSK企業ネットフォーラム開催状況>

	日時・場所	テーマ・講師	参加者
全体会	調整中	調整中	
Aブロック	8月2日(火) 14:00～ ハウスあいファクトリー(株)	『ハウスあいファクトリー(株)での見学と障害者雇用の取り組みについて』 取締役運営部長 松田 達久 様	23名 企業15名 他 8名
	10月4日(火) 14:00～ 社福)加島友愛会 Link かしま障害者センター	『就労移行支援事業所 Link の取り組みと見学 全国の就労系サービスの現状』 副館長 酒井 大介 様	19名 企業12名 他 7名
	12月9日(金) 14:00～ (有)奥進システム	『(有)奥進システムの障害者雇用の取り組みとシステム屋として社会に対してできること』 代表取締役 奥脇 学 様 ※愛媛県新居浜市就労支援ネットワークから5名のオブザーバー参加	19名 企業10名 他 9名
Bブロック	7月20日(水) 14:30～ パナソニック交野(株) 交野自立センター	『パナソニック交野(株)の障害者雇用の取り組みと事業所の見学・交野自立センターの見学』 常務取締役 棚川 悟 様	19名 企業 5名 他 14名
	10月24日(月) 14:00～ (株)エクセディ太陽	『(株)エクセディ太陽の障害者雇用の取り組みと事業所の見学』 取締役社長 金谷 直樹 様	23名 企業10名 他 13名
	12月5日(月) 13:00～ 三洋商事(株)	『三洋商事(株)の障害者雇用の取り組みと事業所内の見学』 桐畑 昭弘 様	14名 企業 8名 他 6名

	日時・場所	テーマ・講師	参加者
Cブロック	8月8日(月) 14:00～ (株)北部グリーンキング	『(株)北部グリーンキングでの障害者雇用の 取り組みと事業所見学』 社長 長尾 忠男 様	13名 企業 6名 他 7名
	10月6日(木) 14:00～ (株)ダイキ田川工場	『(株)ダイキ田川工場での障害者雇用の取り 組みと事業所の見学』 常務取締役 松田 誠一 様	22名 企業 8名 他 14名
	1月18日(水) 14:00～ 大阪府立吹田支援学校 鳥飼校	『吹田支援学校鳥飼校の授業風景見学と卒 業生の就職を含めた進路について』	25名 企業 8名 他 16名
Dブロック	7月20日(水) 14:00～ コクヨ株式会社	『コクヨKハートでの障害者雇用の取り組 みと事業所見学』 代表取締役 黒田 英彦 様	20名 企業10名 他 10名
	9月25日(火) 14:00～ ネクストステージエイブル	『就労移行事業所ネクストステージエイブ ルの就労支援の取り組みと事業所見学』 サービス管理責任者 川崎 敏行 様	21名 企業13名 他 8名
	11月16日(火) 14:00～ たまがわ高等支援学校	『たまがわ高等支援学校の取り組み』	27名 企業11名 他 16名

今年度もA・B・C・Dのブロックごとに3回の企業ネットフォーラムを開催しました。全体会については、日時、企画とも調整中ですが、企画準備が整いましたらご案内します。

どのブロックも特例子会社、障害者雇用事業所、就労移行支援事業所、支援学校、福祉事業所をバランスよく取り混ぜて見学先として企画していただきました。

特例子会社を立ち上げられて1年たったばかりのハウスあいファクトリー(株)、(株)エクセディ太陽は新規の特例子会社でもあり、多くの方が参加されました。

オーナー企業さんでは新規で(有)奥進システムを訪問しました。システム屋さんらしくシステムサポートを通じた福祉事業所との連携について興味深いお話でした。また、愛媛県新居浜市の就労支援ネットワークから企業ネットフォーラムの取り組みについて見学の依頼があり、

OSK 企業ネットフォーラムにオブザーバー参加をしていただきました。

福祉事業所では、4年ぶりに就労移行支援事業所 Link を訪問させていただき、酒井さんからは全国の就労移行支援事業所の現状についてお話いただき、企業の方にもわかりやすく説明していただきました。

3年ぶりに訪問した三洋商事(株)では、現場での携帯電話の解体作業以外に発達障害の方を事務職で雇用されており、雇用管理で工夫されている点についてうかがいました。

これも久しぶりに(株)北部グリーンキングを訪問し、長尾社長の熱い思いをうかがいました。

新しく立ち上げられた特例子会社を興味津々で見学し、久しぶりに訪問する企業では、新たな障害者雇用への展開があり、就労移行支援事業所などの福祉事業所での就労支援、特別支援学校での就職に向けた進路指導について熱心に取り組まれている様子をうかがいました。

OSK 企業ネットフォーラムは、毎回 20 名程度の定員で見学とグループに分かれたバズセッションを行います。参加人数はまちまちですが、企業と福祉事業所、教育、医療との連携が地域で少しずつ広がり、確固としたものになりつつあります。今後とも続けて取り組んでいきたいです。

## Network AWARD

# おめでとう ありがとう そしてこれからもよろしく

1年間の定例会にかかさず参加された方に、また大阪障害者雇用支援ネットワークの活動に多大な貢献をされた方に「ありがとう」という感謝の気持ちと「これからもよろしく」という思いを込めて皆勤賞、感謝状を下記の方たちに贈呈させていただきました。

### Network AWARD 感謝状

大阪障害者雇用支援ネットワーク

代表理事 江口 敬一 様

障害者の雇用の促進と職業の安定に貢献された団体または個人として、「独立行政法人高齢・障害者雇用支援機構」での理事長表彰を受賞されました。お祝いと当ネットワークへのこれまでの感謝の意を込めて感謝状を贈りました。



▶感謝状を受け取る江口代表理事

### Network AWARD 皆勤賞

大阪府立たまがわ高等支援学校

倉木 暁子 様

藤枝 弓子 様



▶すべての定例会に参加され表彰された倉木さん、藤枝さん

**Network AWARD 皆勤賞**

シャープ特選工業 株式会社

北村 晋 様



▶すべての定例会に参加されたとともに職場体験実習の受け入れなど、これまでの活動を支えていただき表彰された北村さん

**Network AWARD 皆勤賞**

大阪障害者雇用支援ネットワーク会員

出口 哲史 様



▶定例会に積極的に参加し、専門性を活かした立場から就労支援等を支え表彰された出口さん

**講演会報告**

## 「ハートランドでのこれまでと 新たな活動を目指して」

講師：元(株)ハートランド 代表取締役 仲井 道博 氏  
元(株)ハートランド 指導員 岩元 隆彬 氏  
報告者：理事 酒井 京子

平成23年12月17日に行われた定例会において、元(株)ハートランド代表取締役の仲井道博氏と元(株)指導員の岩元隆彬氏の両名をお迎えし、ハートランドの実践と今後の活動について講演をしていただきました。今はそれぞれ新たな道を歩まれています、お二人のハートランドに対する熱い思いをたっぷりと語っていただくとともに、それぞれの新しい就労支援の可能性についてもお話いただきました。

**ハートランドについて**

大阪障害者雇用支援ネットワークでは、農業分野における職域の可能性と展望を探るために有志会員による農事研究会が立ち上がり、農業と福祉の連携を模索し、その事業展開について検証をしてきました。その活動をベースに、農事研究会の中心的メンバーであった仲井さんが農業で障害のある人たちの働くチャンスをつくる実践の場として立ち上げたのがコクヨの特例



▶講師の元(株)ハートランド 代表取締役 仲井 道博氏(左)  
指導員 岩元 隆彬氏(右)

業者である黒田善次郎さんの「障害のある人達が仕事をすることによって社会復帰、社会参加できるように」との思いから1940年（昭和15年）に本社工場で聴覚障害のある人を雇用したことが障害者雇用の始まりでした。一方、大阪では当時、シャープの創業者である早川徳次さんの障害者雇用への思いもあり、シャープでは

視覚障害のある方を雇用、コクヨでは聴覚障害のある方を雇用するという両輪で動いていたようで、いかにも大阪らしさがあるのではないかと思います。両社ではその後も創業者の思いが脈々と受け継がれ、コクヨでは特例子会社コクヨKハートやハートランドの設立へとつながっていきます。2007年2月に大阪府泉南市から農業生産法人の認可を受け、その年の10月から栽培を開始しました。事業内容としては、ほうれん草などの葉菜類の水耕栽培を行い、作業の負担、安全性や生産物の品質や数量の安定性を考慮しつつ農薬を使用せずに栽培を障がいのある人に就労の場を提供するだけでなく、安全・安心な野菜生産を通して、年々担い手が減っている農業の復活に貢献するという社会的役割も担っています。大きな社会的役割を担いつつ、坪当たりの売上は全国トップクラスを誇っています（坪あたりの売上高15万円、ちなみに一般の農家では坪2万円だそうです）。

コクヨで農業を通じて働くチャンスをつくっていかうと考えるきっかけとなったのは、農事研究会の“農業と福祉の連携”の理念に共感したことと、もともとコクヨには新しいことに挑戦しようという気風があったことです。農業は、障がいのある人にとって働きがいを実感することができ、自然とともに作業をするリズムが適していることや、仕事のすそ野が広く、多様な事業展開が期待できます。食の安心・安全に対する意識の高まりも農業という分野を選択する後押しになったといえます。

### 実際に起業して

2007年10月8日に入社式を終え、同月25日にサラダほうれん草の初収穫をするところまでは当初の計画通りでしたが、そのあとはさまざまなトラブルの連続でした。ハートランドの創業にあたり、コクヨの会長が「コクヨでノートやデスクを作ったりする際には工場で企画し、計算通りにできる。また値段も決められるが、農業については天候によって暑い日もあれば寒い日もある。雨の日、晴れの日、日照条件などさまざまであり、市場の価格も高くなったり安

くなったり。自分の思い通りにならないのが農業であり、自然です」という言葉を寄せられており、まさしく思い通りにならない困難に直面し、それをどう乗り越えるかの連続でした。水耕栽培用ベッドの排水網がつまり、養液があふれ出す、配水管が詰まる、温水管が破裂するなど相次いで起こる設備の不具合にその都度、応急処置も含めて対処を余儀なくされました。また、べと病（植物病害）が発生し、収穫間近だった株が被害を受けたり、生産量に対して出荷調整の作業が追いつかないなど、数々のトラブルに見舞われました。しかし、さまざまに起こる問題に対し、いろいろな方面からの協力、支援、応援により困難を乗り越えることができました。栽培の方法については、野菜ランド立山より、ノウハウをすべて教えていただいたり、作業が追いつかない事態に陥った時には、近くの施設・愛の家「工房みさき」や矢野紙器の応援をうけ、一緒に乗り越えていただきました。後には愛の家だけでなく他の障害者支援機関やニート支援等との連携を図り、本格的な訓練の場としての企業内授産が始まりました。ハートランドで仕事をするにより、障がいのある人だけでなく施設の職員の意識も変わったように感じています。

### ハートフル企業大賞受賞！

2009年9月、大阪府ハートフル企業懸賞制度においてハートフル企業大賞を受賞しました。受賞の意義は大きかったといえます。それまでは社外での評価は高く、見学者も多かったのですが、コクヨグループ内での評価はいまひとつでした。しかしながら、大賞受賞がきっかけとなり、社内での評価も高まったことはとてもよかったです。

### 今後のハートランド

最大の課題は収益の確保であるといえます。販路を拡大し、イトーヨーカドー、関西スーパー、マンダイ、イズミヤ、イオンなどの大手スーパーチェーンや阪神百貨店、JA泉州、カプリチオーザ（レストラン）など多様な納入先が

できてきています。単純に利益を追い求めることはしませんが、たとえ営業利益が赤字であっても経常利益では黒字となる会社でありたいと思います。会社は誰のためにあるかといえば、社員のためにあり、さらには社員が幸せになるためにあるといえます。ハートランドのスローガンは「助け、助けられ、明るい会社を作りましょう」というものです。ハートランドで働く社員全員が幸せになってほしいと願っています。「明るく、元気に、仲よく、素直に、共に働く 助け助けられる社会づくり」をめざし、「社員の幸せを実現する会社」「社員が生き生きと働ける場」であり続けたいと思います。

ハートランドの社員みんなが笑顔で写っている写真があり、その写真は岩元さんが撮ったものです。岩元さんがカメラを向けるとみんな笑顔になります。一人一人の社員と向き合い、彼らの幸せを真剣に願ってきたからこそその笑顔だといえます。岩元さんが一緒に働くうえで大切にしてきたことは「彼らの目が輝いて、自信をもって、生き生きとした姿で働けるようにする」ことです。

### お二人の今後について

お二人とも今後も引き続き「農業を通じて就労支援を行いたい」という思いは同じです。仲井さんはコクヨの創業の精神「カスの商売を始めます」（賢い人が見向きもしない仕事に着手）を持ち続け、三重県の桑名で農業に関わる仕事をする傍ら、水耕栽培での起業を計画している福祉施設やNPO法人の立ち上げを支援するための活動も並行していくとのことでした。

岩元さんは11月より、大阪市福島区の野田新橋筋商店街のなかにある「八百屋マン・マーケット」で青果・鮮魚の販売活動に従事されています。「八百屋マン・マーケット」はネクストステージ大阪有限責任事業組合の全面的バックアップのもと、学生時代に活動していた経営パラリンピックの理念である「福祉と経営の融合」を実践し、経営をやりたいという思いをもった4人が株式会社八百鮮（やおせん）を



▶講演会の様子

ビジネスモデルの実現に向けて若者たちが奮闘しています。「ヒト・モノ・カネ」の流れの中で社会性をもたせていくことが自分たちの使命であると岩元さんは語ってくれました。高齢者にやさしいお店をめざし、1対1の接客を重視し、高齢者のニーズに応えられるお店づくりや障がいのある人が働くことを通して生きる喜びを感じられる社会に貢献していきます。現在は月商1,100万円ですが、4月にオープン予定の2店舗目を軌道にのせることが今の課題であり、さらには2013年には3店舗目のオープンを計画し、10年後には、「100億円企業、障害者雇用25%」を目指します。“夢は大きく希望は高らかに”です。

### さいごに

お二人に講演していただいた後、矢野さんから「自分が退社した会社のことをこれだけ楽しく、生き生きと語れることのすごさ、素晴らしさ」というコメントがありました。ハートランドで過ごした時間の深みと重みが伝わってくるお話でした。お二人の講演を通して、経済的価値だけでなく、社会的価値として存在する会社というものについて改めて考えると同時にこれからの活動に無限の可能性を感じました。

講演の最後は江口代表から「60歳からの夢が本当の夢」という言葉をいただきました。その夢を追い続ける仲井さん、岩元さんの今後の活動は目が離せないですし、お二人のますますの活躍を期待します。

## <短期職業訓練インターンシップ実施状況 (H23.12.31)>

### I. インターンシップ登録及び実施状況

実施中及び実施済件数	102名
修了数	88名
中退数	7名
(うち雇用移行のための中退数)	(1名)
実施中数	7名
実施予定および調整中	16名
登録取消	6名
IS利用登録人数合計	124名

### II. インターンシップ相談者状況

#### <全体>

		身体					知的	精神	その他	計
		聴覚	視覚	肢体	内部	小計				
実施	修了者数	1	0	0	1	2	41	43	2	88
	中退者数	0	0	0	0	0	2	5	0	7
	実施中数	0	0	1	0	1	3	3	0	7
小計		1	0	1	1	3	46	51	2	102
実施予定・調整中		0	1	0	0	1	7	8	0	16
登録取消		0	0	0	0	0	1	5	0	6
合計		1	1	1	1	4	54	64	2	124

### III. 就職状況

	身体	知的	精神	その他	全体
就職者数	2	12	14	1	29
障害種別就職率	67%	26%	27%	50%	28%

※就職状況については一部確認が取れていない所があるため、数に反映できていない可能性があります。

(人数)

#### H22年度 インターンシップグラフ

(時間)

